卒園児に贈る言葉・・・「強い心」 と 「しなやかな心」　園長 木村緯歩子

あなたが、まだ小さな赤ちゃんだったころ、
あなたが泣くと、お母さんはすぐにとんできてくれたことでしょう。

　あなたが、まだ小さな赤ちゃんだったころ、
あなたが理由もなく、抱っこ、抱っことせがんでも、
お父さんはとっておきの笑顔で、抱き上げてくれたことでしょう。

あなたが、まだ小さな赤ちゃんだったころ、
熱を出したり、お腹をこわすと
お父さんも、お母さんも、一晩中心配してくれたことでしょう。

そんなあなたが、大きくなって、少しのことでは泣かなくなりました。
病気もしない、強い子供になりました。

辛いときにも、がんばれる、諦めない、なげださない、
強い心になりました。
お友達にも、優しく声をかけられる、優しいあなたになりました。

これから、もっと、もっと大きくなる　あなた
大事なことは、「強い心」 と 「しなやかな心」を、持てること
両方の心を持って、上手に使い分ることができる人

そんな、大人になってください。
　そんな、「あなた」に　・・・　なってください。

あたかも、そらを飛ぶ鳥のように・・・

あたかも、水中を泳ぐ魚のように・・・

どんな時でも、生き生きと輝いて・・・・